

「倫理的購入・CSR調達ガイドライン」研究会
第3回研究会

「誠実な企業」賞 -Integrity Award-

について

2012年9月5日
株式会社インテグレックス
代表取締役社長 秋山をね

「誠実な企業」賞 -Integrity Award- 設立趣旨

企業として、社会的責任を果たすために日頃より努力をしており、企業倫理、コンプライアンス、内部統制等に優れた取り組みを行っている企業を選出し、表彰することにより、

- ①社会的責任を重視した誠実な経営が、中長期的に見て市場で高い競争力をもたらすことを啓蒙するとともに、
- ②こうした意識の高い企業を側面から支援し、企業経営の誠実さの重要性を示すこと

を目的に、2002年に表彰制度を設立

・背景として、当時相次いだ企業不祥事があった

賞の創設当初のプレスリリースより

このところの企業不祥事の多発をみていますと、「Integrity」(誠実さ)という言葉が現在ほど重要な時代はないように感じます。私どもは、この「Integrity」という言葉のもつ社会的な意義を広く啓蒙すべく、このたびKey Firm of Integrity Award(「誠実な企業」賞)を新しく設立することにいたしました。



沿革

2002年：産経新聞社およびKFi株式会社により“「誠実な企業」賞 -Key Firm of Integrity Award- ”を創設

2003～07年：毎春、「大賞」「事業法人部門賞」「金融機関部門賞」の各授賞を決定・発表し、表彰式を東京証券取引所内東証ホールにて開催

2008年：財務報告に係る内部統制の本格的な導入が始まるほか、誠実な企業であることが内部統制上のコントロール環境の重要な要因になることから、同年より、“日本内部統制大賞 -Integrity Award- ”と名称を改訂、事業法人/金融機関の区別を撤廃し、「最優秀賞」「優秀賞」を授賞（2008年～2011年同賞授賞、表彰式を東証ホールにて開催）

21世紀の経済社会において会計専門職業に関わる人に対する期待が高まり、果たすべき責任も大変大きくなってきていることから、次世代を担う会計人をたたえる特別賞として、“会計人奨励賞 -Accountant Encouragement Award- ”を創設



沿革

2010年：会計における経営者の役割の重要性がますます高まっていることから、“経営者会計大賞 -Accounting Award for Top Executive- ”を創設

2012年：内部統制の啓蒙は、ある程度達成されたこと、より幅広い企業の社会的責任が重要となっていることから、賞の名称を、創設時の“「誠実な企業」賞 -Integrity Award- ”に改訂、同年春、「最優秀賞」「優秀賞」の各授賞を決定・発表し、表彰式を東証ホールにて開催

会計人表彰について、創設当時、会計人に対する表彰制度がなかったことから始まったが、2009年より、日本公認会計士協会による同様の表彰（「公認会計士の日」大賞）が実施されていることから、一定の役割を果たすことができたと考え、表彰終了を決定



実施体制

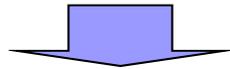
〔主催〕 「誠実な企業」賞 -Integrity Award- 審議会

〔協賛〕 日本監査役協会／日本公認不正検査士協会／
日本コーポレート・ガバナンス・ネットワーク／
日本内部統制研究学会／日本取締役協会／
TAC株式会社／株式会社インテグレックス

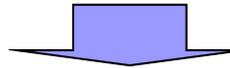
〔運営〕 「誠実な企業」賞 -Integrity Award- 審議会事務局
(2002年～2010年 KFi株式会社内、
2011年～ 株式会社インテグレックス内)

表彰企業 選出プロセス

インテグレックス社が「企業の誠実さ・透明性
(倫理性・社会性)調査」を実施



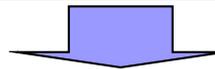
調査を基に、インテグレックス社が候補企業を選出(40社程度)
(過去5回の最優秀賞授賞企業は除外)



各審議委員が、候補企業の内、5社程度を推薦



審議委員からの推薦を基に、審議会で審議

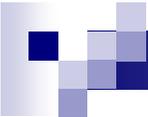


授賞企業を決定(最優秀賞1社、優秀賞1~2社)



選出にあたっての視点

- ・トップマネジメントのコミットメントが高い
- ・企業理念の浸透と推進に熱心に取り組んでいる
- ・トップ自らが発信をし、社内の意識の共有と向上に努めている
- ・企業のインテグリティを支えるマネジメントシステムが構築されている
- ・事業活動の中で、企業の社会的責任を果たしている



審議会メンバー

委員長

長友 英資 株式会社ENアソシエイツ 代表取締役

委員 (五十音順)

秋山 をね	株式会社インテグレックス 代表取締役社長
斎藤 博明	TAC株式会社 代表取締役社長
高 巖	麗澤大学経済学部 教授・学部長
高橋 弘幸	日本監査役協会 顧問
静 正樹	株式会社東京証券取引所 執行役員
中島 茂	中島経営法律事務所 代表弁護士
八田 進二	青山学院大学大学院 教授
藤沼 亜起	日本公認会計士協会 元会長

これまでの授賞企業

「誠実な企業」賞(大賞、事業法人部門賞、金融機関部門賞)

2003年春	[大] 三菱地所	[事] ダイセキ	[金] みずほ信託銀行
2004年春	[大] なとり	[事] 日本電気	[金] 滋賀銀行
2005年春	[大] 大日本印刷	[事] キリンビール	[金] 信金中央金庫
2006年春	[大] 花王	[事] イオン	[金] 新生銀行
2007年春	[大] エーザイ	[事] 凸版印刷	[金] 大垣共立銀行

日本内部統制大賞(最優秀賞、優秀賞)

2008年春	[最優] セブン&アイ・ホールディングス	[優] 協立電機
2009年春	[最優] 資生堂	[優] オムロン、ベネッセコーポレーション
2010年春	[最優] TOTO	[優] 旭硝子、三菱商事
2011年春	[最優] コマツ	[優] 積水ハウス、帝人

「誠実な企業」賞(最優秀賞、優秀賞)

2012年春	[最優] オムロン	[優] 三井物産、ベネッセホールディングス
--------	-----------	-----------------------

表彰式（「誠実な企業」賞2012）

2012年3月22日（木） 東京証券取引所内東証ホールにて開催



「誠実な企業」賞2012 最優秀賞表彰



受賞企業代表者と長友委員長

(株)インテグレックスHPより)

表彰式 主なプログラム

「誠実な企業」賞2012、（特別賞）会計人賞2012 表彰

「誠実な企業」賞2012 受賞企業講演

「最優秀賞」 オムロン株式会社 代表取締役会長 作田久男様

「優秀賞」 三井物産株式会社 代表取締役常務執行役員 木下雅之様

「優秀賞」 株式会社ベネッセホールディングス 代表取締役副社長 福原賢一様

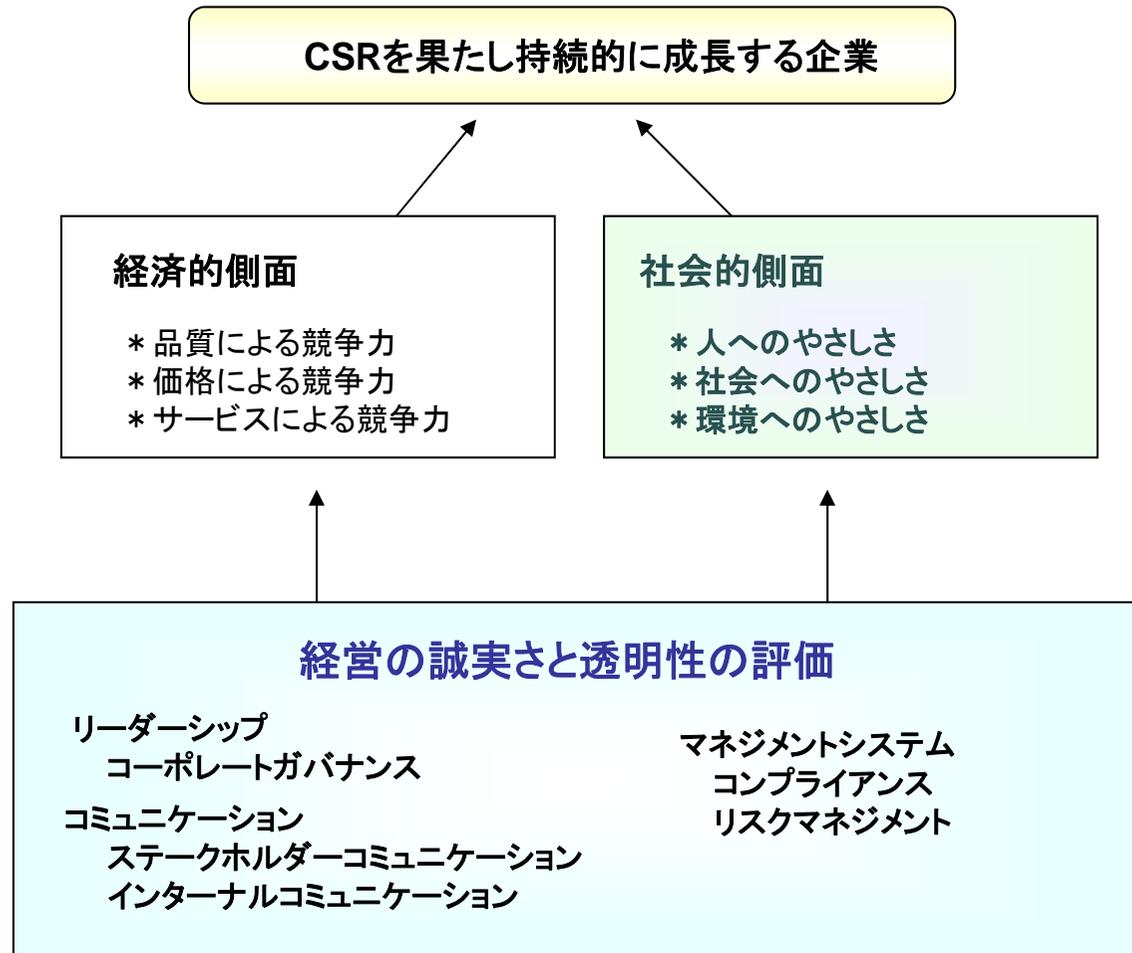
会計人賞2012 受賞者スピーチ

【参考】



インテグレックス「企業の誠実さ・透明性(倫理性・社会性)調査」

CSR評価の考え方



【参考】



評価のポイント

総合評価 以下の(1)、(2)、(3)、(4)に基づく総合評価

項目別評価

(1) リーダーシップ

(経営トップは、企業の理念に基づく規律ある経営を行い、企業活動を通じて、持続可能(サステナブル)な社会の建設に努めているか。)

(5)コーポレートガバナンス を含む

(2) コミュニケーション

(企業としての説明責任が重視され、社内および社外への透明性は十分に高いといえるか。)

(6)ステークホルダーコミュニケーション

(7)インターナルコミュニケーション を含む

(3) マネジメントシステム

(倫理コンプライアンス体制が十分に確立され、法的リスクのみならず社会的リスクをコントロールし、発生したリスクへの対応に関して十分な体制が構築されているか。)

(8)コンプライアンス(グループ会社、海外部門)

(9)リスクマネジメント(緊急事態・BCP、情報管理) を含む

(4) サステナビリティ

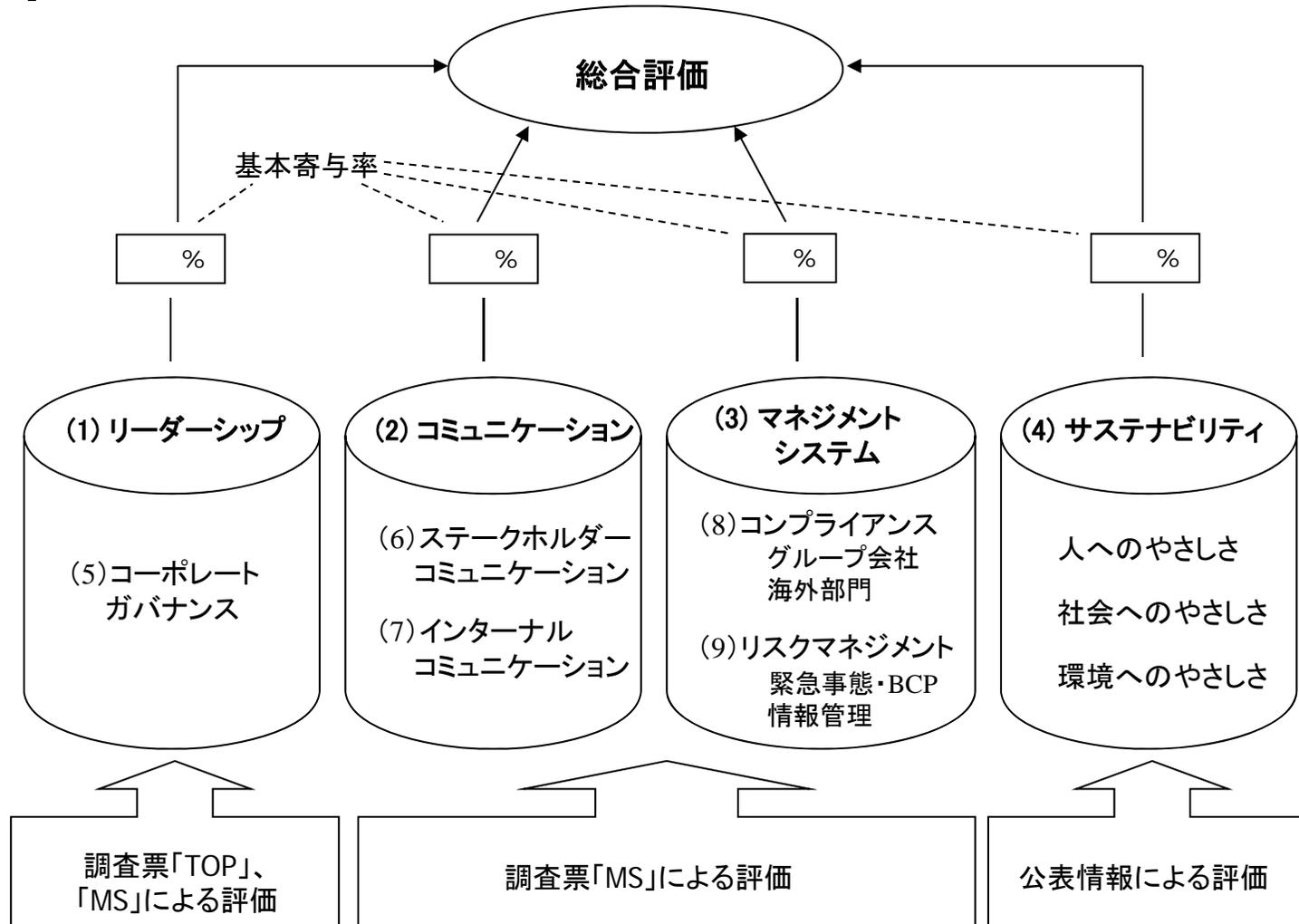
(社会への誠実さ(インテグリティ)を高め、社会・地球環境の持続可能性(サステナビリティ)の維持に貢献しているか。)

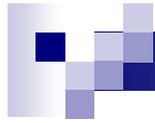
人へのやさしさ、社会へのやさしさ、環境へのやさしさ を含む

【参考】



評価モデル図





一圓融合

二宮 尊徳

「一圓融合」は、二宮尊徳の報徳思想にある考え方です。この世で相対するものは、すべてが互いに働き合って一体となっている。だから別々に切り離して考えるのではなく、一つの円の中に入れて見る。その一つの円の中で、すべてのものが互いに働き合い、一体となったときに初めて結果が出るというのが「一圓融合」です。